dBTechnologies

KL シリーズ

KL 10 / KL 12
2-Way アクティブスピーカー

取扱説明書

KL Series

KL 10

KL 12

Bluetooth®

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出た、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落とした、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災 / 感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター (巻末に記載) に修理をご依頼ください。万一、煙が出ていたり、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して、販売店まで修理をご依頼下さい。
指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災 / 感電の原因となります。 定期的 (年 1 回くらい) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災 / 感電の原因となります。万一、電源コードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (巻末に記載) に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。 表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。 また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災 / 感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20cm 以上) 離して設置する 隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災/感電の原因となります。
禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (巻末に記載) にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

	注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す** コードが傷つき、火災 / 感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する** **また、接続は指定のコードを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。
注意	5 年に 1 度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター (巻末に記載) にご相談ください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

目次

安全にお使いいただくために....2
商標および著作権に関して....3
はじめに....3
本製品の構成....3
ユーザー登録について....3
本書の表記....3
電波について....4
本機の使用上の注意事項....4
通信コンディション....4
通信セキュリティー....4
Bluetooth® 機能について....4
プロファイル....4
コーデック....4
設置上の注意....5
アフターサービス....5
結露について....5
製品のお手入れ....5
本機の概要....6
主な特徴....6
設置方法....6
ウェッジ設置 (モニタリング用途)....7
各部の名称....7
リアパネル....7
外部機器との接続....8
Mic/Line Inputへの接続....8
Line Inputの接続....8
Bluetooth機器の接続....8
Link/Mix Outputの接続....8
DSPプリセット....8
仕様....9
一般....9
寸法図....10

商標および著作権に関して

- TASCAM およびタスカムは、ティアック 株式会社の登録商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、AEB Industriale SRLはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。
- dBTechnologies はA.E.B Industriale SRL のそれぞれの国における商標または登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは、dBTechnologies KLシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

- 取扱説明書(日本語) は、TASCAMのウェブサイトからダウンロードすることができます。

  https://tascam.jp/jp/

- 最新版の取扱説明書(英語)については、dBTechnologiesのウェブサイトのダウンロードページから、"KL"の項目を選択し、上段"Manuals"の列から対象となるPDFファイルをダウンロードしてください。

  https://www.dbtechnologies.com/en/downloads/

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

- スピーカー本体 ....×1
- ソフトカバー ....×1
- 電源コード ....×1
- 取扱説明書(本書、保証書付き) ....×1

ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

https://tascam.jp/jp/login

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「**POWER**」のように太字で表記します。
- 本機のディスプレーに表示される文字を“**MAIN**”のように“_”で使って表記します。

ヒント

本機を、このように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

電波について

本機は、電波法に基づく小電力 データ 通信 システムの無線設備として、認証技術基準適合証明を受けています。
したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 本機に貼ってある証明 ラベルをはがすこと

KL 10 R 210-142604

KL 12 R 210-142601

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子 レンジなどの産業/科学/医療用機器のほか、工場の製造 ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア 無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定の小電力無線局ならびにアマチュア 無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、タスカム カスタマーサポート(巻末に記載)にご連絡いただき、混信回避のための処置についてご相談ください。
- その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りの場合は、タスカム カスタマーサポート(巻末に記載)へお問い合せください。

通信コンディション

- 本機のBluetooth® 通信出力 クラスは、Class2です。
- 見通し通信距離は 10m程度ですが、障害物や電波状況によって距離は変動します。
- 本機とBluetooth® 機器との間に障害物がある場合、Bluetooth® 通信に悪影響が出る場合があります。この場合は、障害物を除去してください。
  また、使用環境内で無線LAN(IEEE802.11b/g)や電子レンジが使用されている場合にも、Bluetooth® 通信に悪影響が出る場合があります。
  この場合は、これらの機器の使用を中止するか、本機およびBluetooth® 機器をこれらの機器から10m以上離してください。

通信セキュリティー

本機は、Bluetooth通信でBluetooth の標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、通信の秘匿性を保障するものではありません。
Bluetooth通信で情報の漏洩が発生しましても、弊社は一切の責任を負いかねます。

Bluetooth® 機能について

本機は、Bluetoothオーディオレシーバーを搭載しており、Bluetooth に対応したパソコンやポータブルオーディオ 機器(Bluetooth機器)の再生音声を出力できます。

注意

本機のBluetooth機能について、全てのBluetooth機器との接続や動作を保証するものではありません。

プロファイル

本機は、以下のBluetooth プロファイルに対応しています。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
  Bluetoothで音声伝送を行うには、Bluetooth機器がA2DPに対応している必要があります。
  ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth機器の仕様により、機能が異なる場合があります。

コーデック

本機は、以下のコーデックに対応しています。

- SBC

使用するコーデックは、Bluetooth 機器のコーデック 対応や通信状況に応じて適切に選択します。

メモ

- 使用するコーデックは、ボタン操作などで選択することはできません。
- Bluetooth無線技術の特性により、Bluetooth再生機器に比べて本機側での再生がわずかに遅れます。

設置上の注意

- 設置は、資格や経験を持った人(専門業者)が必ず行い、使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や動物・機器に損害を与えないようにしてください。
- 本機の動作保証温度は、摂氏-5度〜50度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。
  - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  - 極端に温度が低い場所
  - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所。
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- 熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機の近くに大型 トランスを持つ機器がある場合にハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出る、またはラジオからの雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発進時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付(巻末に記載)されています。大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店/ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。保証期間中は、保証書に記載の無料修理規定によりティアック 修理 センター(巻末に記載)が無料修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、お買い上げの販売店またはティアック 修理 センター(巻末に記載)にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、お買い上げの販売店またはティアック 修理 センター(巻末に記載)までご連絡ください。
- 修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責については、ご容赦ください。
  - 型名、型番　(KL xx)*
  - 製造番号　(Serial No.)
  - 故障の症状　(できるだけ詳しく)
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

* ご使用中の[KL 10/KL 12]いずれかの型名をお知らせください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1〜2時間放置してから電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。

化学雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

本機の概要

dBTechnologies KLシリーズは、2ウェイアクティブスピーカーの汎用性にBluetooh音声入力を含む３系統の入力といった利便性を加えました。余裕のあるSPLを出力するパワーアンプと、リニアフェーズFIRフィルター搭載のパワフルなDSPの実用性が融合し、プロフェッショナルなサウンドパフォーマンスを提供します。

- 1インチ・コンプレッションドライバー
  - KL 10 [1 インチボイスコイル]
  - KL 12 [1.35 インチボイスコイル]
- ウーファー
  - KL 10 [10インチ・ウーファー /2 インチボイスコイル]
  - KL 12 [12インチ・ウーファー /2.5 インチボイスコイル]

主な特徴

- 本機は、高度なDSP処理を備えた強力で効率的な400 Wアンプ(KL 10)、および800 Wアンプ(KL 12)を採用。
  リニアフェイズFIRフィルターにより、どのリスニングポジションからでも、均一で透明感のあるコヒーレントなオーディオパフォーマンスを実現します。
  また、厳選された内蔵DSPプリセット機能により、使用環境に合わせたサウンドを提供します。
- 本機のキャビネットは、ミラーリング・ステージモニターとして、使用可能な背面デザイン、さらに２通りのチルト角度(0° および 7.5°)が、設定可能なポールマウントカップを装備し、柔軟なポールマウント設置を可能にする多機能性を併せ持ちます。
- 本機は、独立した入力レベルを管理できる3つの入力チャンネルを備えています。
  - CH1は、バランスのXLR/6.3mmコンボジャックタイプの入力端子で、「ライン/マイク」のソースを選択できます。
  - CH2は、バランスのXLRとTRSジャックのライン入力端子です。
  - CH3は、Bluetooth接続で任意のデバイスを接続できます。
  - 出力は、切り換えスイッチにより「Link/Mix」で選択できます。
    Link　：レベル調整前の信号
    Mix　：各CHの入力とマスター出力のレベル調整後の信号
  また、バランスXLR端子で、2台目のラウドスピーカーやミキサーに接続できます。

サウンド カバレッジ

- 多くの構成や様々な状況の設置でも、最適な効果が得られる音響設計になっています。

KLシリーズのカバレッジは、垂直 60° / 水平 90° です。
モニター用途や横置きでは、これらの数値を参考にして適切なカバレッジが得られるようにしてください。

設置方法

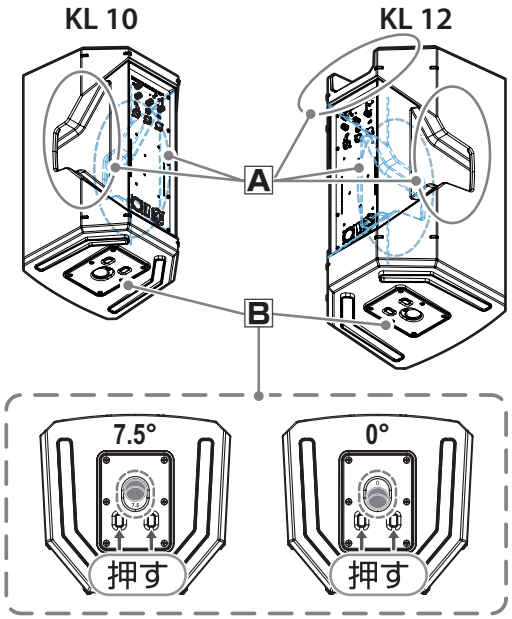
電源を入れる前に、必ず、本機の入力/出力ボリュームが最小値であることを確認してください。
また、本機に接続している音源側の機器の音量も最小にして下さい。
(各端子類や操作部については、7 ページの「各部の名称」を参照してください。)

注意

ここで紹介する設置方法以外で、絶対に設置しないでください。指示を守らない場合、人がけがをしたり、機器が壊れたりする原因となります。

- 設置は、資格や経験を持った人(専門業者)が必ず行い、使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や動物・機器に損害を与えないようにしてください。
- 設置部分の強度が機器の総重量に十分対応可能か確認してください。(設置部分の強度が不足している場合、落下や転倒して、人や動物・機器に損害の原因になります。)
- 本体のハンドルや本体ブラケットを使って本機器を吊るさないでください。
- 別売りアクセサリーを安全にお使い頂くために、使用前など定期的にしっかりと固定・組み立てされているかチェックしてください。(弊社は、不適切なアクセサリーの使用、または追加による損傷に対していかなる責任も負いません。)
- スピーカーは、必ず安定した場所に確実に設置してください。
- 安全上の理由により、適切な固定方法を用いることなくスピーカーを重ねて設置しないでください。

外観説明



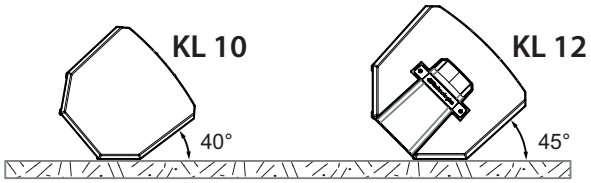
A : ハンドル部
- KL 10 : 両側面にハンドルを装備
- KL 12 : 上部/両側面にハンドルを装備

B : ポールマウントカップ
- 2つのチルトアングルオプション(0°または7.5°)を装備

注意

絶対にハンドルを使ってスピーカーを吊り下げないでください。

ウェッジ設置 (モニタリング用途)



小さなライブ 会場などでは、本機をモニター用として使用することができます。その場合は、スピーカーの傾斜面を下にして水平に置いてください。

(左右対称の後面傾斜は、[KL 10 : 40˚]/[KL 12 : 45˚] です。)

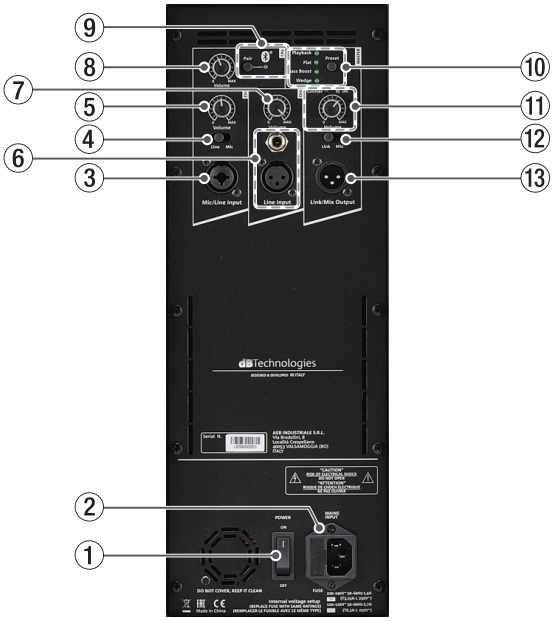
その際、サウンド・カバレッジの特性に関しては、6 ページの「主な特徴」をご覧ください。

各部の名称

注意

- 電源を入れる前に必ず、本機の入力/出力ボリュームが最小値であること、また音源側の機器の音量が最小であることを確認して下さい。
- ケーブルの接続や取り外しは、必ず電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。

リアパネル



① POWER
電源 スイッチ

② MAINS INPUT
AC 電源 端子
付属の電源コードを接続します。

注意

- 本機は、ヒューズを備えています。
  万一、動作しなくなった場合は電源プラグを抜いてティアック修理センター (巻末に記載) にご相談ください。
- 電源コードは、付属の電源コードをご使用ください。
  それ以外のケーブルを使用すると感電およびスピーカーの動作に影響する場合があります。

③ Mic/Line Input (CH 1)
Mic/Lineオーディオ 入力端子 (バランスXLR/TRSコンボ 端子)

④ Mic/Line 切り換えスイッチ (CH 1)
CH1の入力 ソースを選択できます。(初期設定は「Line」側)

- 音楽プレイヤーやキーボードまたは本機のデイジーチェーン接続をする場合、「Line」側に切り換えてください。
- ダイナミックマイクを使用する場合は、「Mic」側に切り換えてください。

⑤ Volume (CH 1)
CH1の入力 レベルを調整します。

⑥ Line Input (CH 2)
Lineオーディオ 入力端子 (バランスTRS端子、XLR端子)

⑦ Volume (CH 2)
CH2の入力 レベルを調整します。

⑧ Volume (CH 3)
CH3のBluetooth入力 レベルを調整します。

⑨ ペアリングボタン /Bluetooth ステータス LED

- ペアリングボタン
  ボタンを押すと、Bluetooth機器とペアリングを行います。
- BluetoothステータスLED
  ペアリングモードの際、点滅します。

⑩ Preset (DSP)/DSP ステータス LED

- DSPプリセット切り換えボタン
  入力ソースや設置環境に合ったDSPプリセット(EQ)をボタンで選択します。
- DSPステータスLED
  選択中のプリセットモードは、LEDの点灯で表示します。
  プリセットモード : Playback/Flat/Bass Boost/Wedge

⑪ Volume (Master)/ コントロール LED
マスター出力 レベルを調整します。

- コントロールLED
  Limiter LED : 入力信号の歪み音や他の不具合で、内部リミッターが作動した場合に点滅します。
  ON LED : オーディオ信号が、入力されている時に点滅します。

⑫ Link/Mix 切り換えスイッチ (Master)
出力信号の出力方法を選択できます。

- Link側 : レベルコントロール前の信号
- Mix側 : 各CHとマスター出力のレベルコントロール後の信号

⑬ Link/Mix Output (Master)
Link/Mixオーディオ 出力端子 (バランスXLR端子)

外部機器との接続

注意

- 電源を入れる前には、音源側の機器の音量を最小にして下さい。
- 入力機器のケーブルの接続や取り外しは必ず、本機の電源を切り、電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。

Mic/Line Inputへの接続

1. Mic/Line Input (CH1)端子(③)にバランスXLRケーブル、または6.3mmTRS標準ジャックケーブルを接続します。
2. ダイナミックマイクを使用する場合は、Mic/Line切り換えスイッチ (CH1)(④)で「Mic」側に切り換えます。
3. それ以外の場合は、Mic/Line切り換えスイッチ (CH1)(④)が「Line」になっていることを確認してください。
4. Volume (CH1)(⑤)で、入力レベルを調整します。

Line Inputの接続

1. Line Input (CH2)端子(⑥)にバランスXLRケーブル、または6.3mmTRS標準ジャックケーブルを接続します。
2. Volume (CH2)(⑦)で、入力レベルを調整します。

Bluetooth機器の接続

1. ペアリングボタン(⑨)を押して、ペアリングモードにします。(BluetoothステータスLEDが点滅します。)
2. Bluetooth機器側より検索を実行し、接続可能なBluetooth機器を表示させてください。
3. 検索結果リストから、本機を選択してください。
4. Bluetooth機器側の指示にしたがって、本機をBluetooth接続してください。
5. 接続後のオーディオ信号は、CH3に入力されます。
6. Volume (CH3)(⑧)で、入力レベルを調整します。

Link/Mix Outputの接続

本機を他のスピーカー (KLシリーズ)にデイジーチェーン接続(リンク)する場合、バランスXLRケーブルを使用してください。

必要に応じて、Link/Mix切り換えスイッチ (Master)(⑫)で、出力方法を切り換えてください。

- Link側　：レベル調整前の信号
- Mix側　：各CHの入力とマスター出力のレベル調整後の信号

1. 本機のLink/Mix Output (Master)(⑬)を、他のスピーカー(KLシリーズ)のMic/Line Input (CH1)端子(③)に、バランスXLRケーブルで接続します。
2. 接続先の他のスピーカー (KLシリーズ)は、Mic/Line切り換えスイッチ (CH1)(④)を「Line」側にし、Volume (CH1)(⑤)が適正値であることを確認して下さい。

DSPプリセット

本機は、DSPによって処理される4種類のデジタルイコラザーが、あらかじめプログラムされており、目的に応じてプリセット値を選択できます。

選択するには、DSPプリセット切り換えボタン(⑩)でプリセットモードを選んでください。
(ボタンを押す毎にプリセットモードが切り換わります。)

- 選択中のプリセットモードは、LEDの点灯で表示します。

Playback	MP3プレーヤーやCDからからの入力に使用する場合に、最適なイコライザーです。 低域と高域の音が増幅されます。
FLAT	イコライジングをかけずに、入力されたオーディオ信号をそのまま出力します。 ライブ公演などに最適なイコライザーです。
Bass Boost	低域を増強します。
Wedge	ウェッジ 設置時に床面との反射が、引き起こす低域への影響を軽減させ、フラットな状態になります。

仕様

形式
2-Way アクティブスピーカー

スピーカーユニット
HF : 1インチ・コンプレッションドライバー ×1
KL 10 : 1 インチボイスコイル
KL 12 : 1.35 インチボイスコイル
LF : ウーファー ×1
KL 10 : 10インチ/2 インチボイスコイル
KL 12 : 12インチ/2.5 インチボイスコイル
指向性(カバレッジ) : 水平 90° /垂直 60°

アンプ部
形式/クラス : Class D(LF)+Class AB (HF)
ピーク出力 : KL 10 [400 W]/KL 12 [800 W]
冷却システム : アクティブ冷却ファン

DSP部
コントローラー : 28/56 bit
AD/DA処理 : 24 bit/48 kHz
DSPフィルター : リニアフェイズFIRフィルター
ユーザー設定 : Mic/Line切り換えスイッチ ×1
Link/Mix切り換えスイッチ ×1
入力CHレベル調節ボリューム ×3
出力レベル調節ボリューム ×1
DSPプリセット選択切り換えボタン ×1
リミッター : ピーク、RMS、サーマル
警告LED : リミッター LED
状態LED : Bluetoothステータス LED、DSPプリセットモードLED、パワーオンLED

周波数特性

	[-10 dB]時	[-6 dB]時
KL 10	55～18000 Hz	58～17000 Hz
KL 12	53～20000 Hz	58～19500 Hz

最大SPL (1m)
KL 10 : 125 dB
KL 12 : 127 dB

クロスオーバー周波数 (24dB/oct.)
KL 10 : 2000 Hz
KL 12 : 1700 Hz

入出力
入力
CH1 : XLR/TRS兼用端子 (MIC/LINE 切り換え式) ×1
CH2 : 6.3mmTRS端子 (LINE) ×1、XLR端子 ×1
CH3 : Bluetooth ×1

外部出力
出力
Link/Mix(切り換え式) : XLR端子 ×1

Bluetooth
出力クラス : Class 2 (見通し通信距離: 約10m*)
対応プロファイル : A2DP
対応A2DPコーデック : SBC
* 通信距離は目安です。周囲の環境や電波状況により通信距離は、変わる場合があります。

一般

電源
AC 100 V、50/60 Hz
AC インレット

注意
日本国内においては、AC100 Vのみ動作保証となります。(それ以外の電圧で、使用しないでください。)

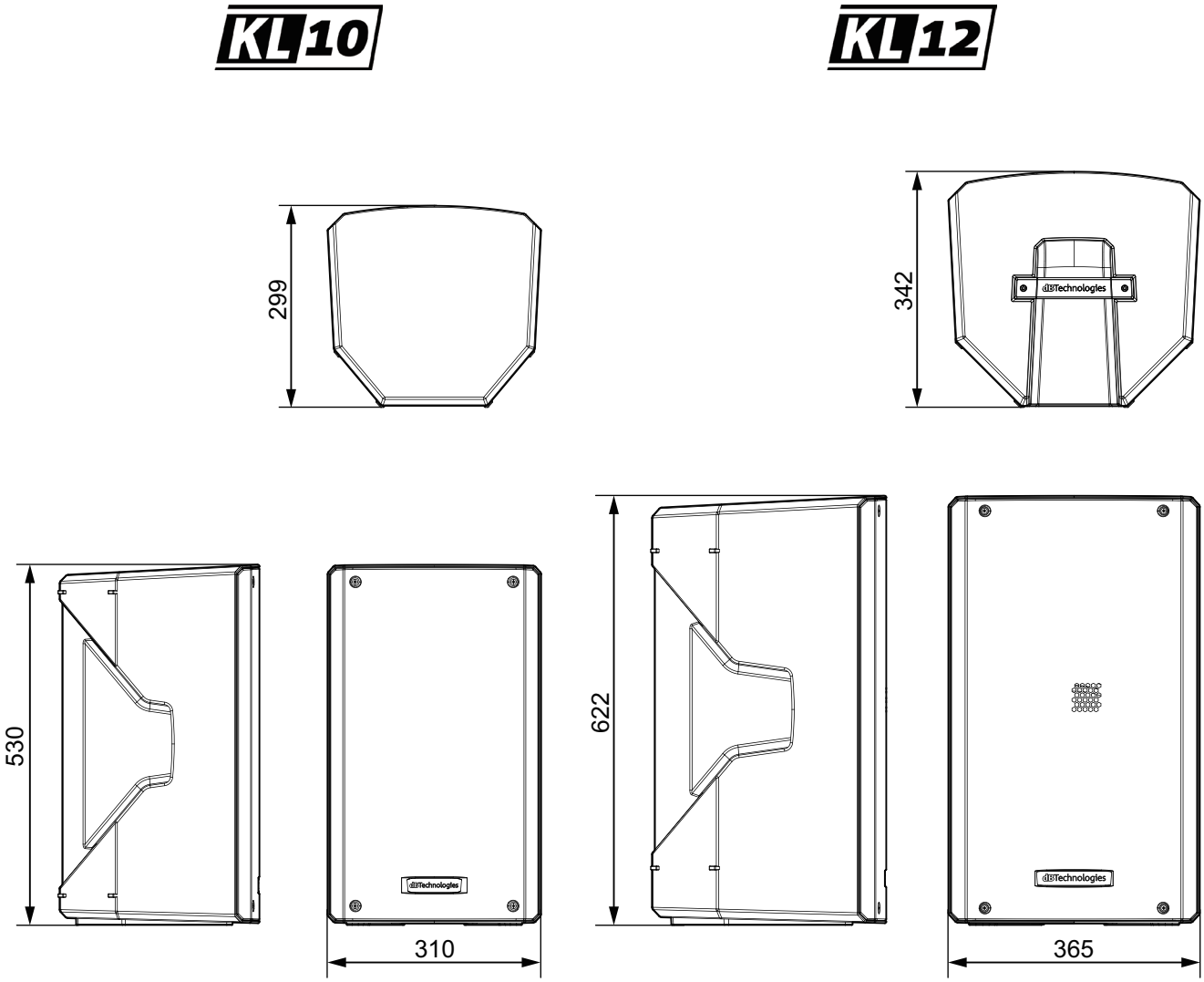
消費電流(*)
KL 10 : 1.7 A (100 V時)
KL 12 : 2.7 A (100 V時)
* 通常の使用状況で、フルパワー出力の1/3の場合の消費電力(音楽再生中にクリッピングが頻繁に発生する状態)
設置時やツアー時は、消費電流の値を参照して、電源容量を計算してください。

外形寸法
幅 x 高さ x 奥行き (突起部を含まず)
KL 10 : 310 × 530 × 299 mm
KL 12 : 365 × 622 × 342 mm

質量
KL 10 : 11.3 kg
KL 12 : 16.5 kg

動作温度
-5 ～ +50℃

寸法図



無料修理規定(持ち込み修理)

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。

2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。

3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。

4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
(1)ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(2)お買い上げ後の輸送/移動/落下などによる故障および損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
(4)接続しているほかの機器に起因する故障および損傷
(5)業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
(6)メンテナンス
(7)本書の提示がない場合
(8)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
These warranty provisions in Japanese are valid only in Japan.

6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間/条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

- 電話　042-356-9137　携帯電話・PHS・IP電話から
- ナビダイヤル　0570-000-809　一般電話から
- FAX　042-356-9185

受付時間は、10:00〜12:00/13:00〜17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858

- 電話　04-2901-1033　携帯電話・PHS・IP電話から
- ナビダイヤル　0570-000-501　一般電話から
- FAX　04-2901-1036

受付時間は、9:30〜17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in Japan

保証書

品名	
および形名	KL 10/KL 12
機番	
保証期間	本体
お買い上げ日	年　月　日
お客様	お名前
	ご住所

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から左記の期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	
	電話　　)

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

ティアック修理センター

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858

電話：0570-000-501(ナビダイヤル)／04-2901-1033

見本

0721. MA-3311A